

# 笑顔 このまちに を広げます

民生委員・児童委員は、さまざまな活動を通じて、あなたのまちの安心を支えています。皆さんもお気軽に私たちにご相談ください。



## ふじみ野市民生委員・児童委員協議会連合会 (第2地区民生委員・児童委員協議会) 会長 風間 和江さん



ございました。

現在、市内の民生委員・児童委員は5つの地区(第1地区・第2地区・第3地区・南地区、西地区)に分かれており、それぞれの地区が特色を持って活動しています。

また、各委員の知識向上を目的にさまざまな研修(下部参照)を行っています。

今後は、5地区の連携をさらに深め、民生委員・児童委員活動を通して安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいと思っております。どうぞお気軽にご相談いただければと存じます。

昨年12月の一斉改選後の臨時総会で会長に選任されました。ことは民生委員制度創設100周年にもあたり、今は責任の重さを実感しています。少子高齢化や社会情勢の変化により地域福祉問題は複雑多様化しています。このようなときにこそ、民生委員・児童委員の存在や役割を広く知っていただくことが大切だと思います。

何かお困りのことや分からないことがあれば、遠慮なく民生委員・児童委員にご相談してください。解決のために必要な行政や関係機関におつな



民生委員高齢者部会5地区合同研修  
講師 松館千枝氏

4月17日、5月22日に市役所本庁舎で民生委員高齢者部会5地区合同傾聴研修が開かれました。

松館千枝さん(日本カウンセリング学会認定カウンセラー)を講師に迎え、聞き手と話し手に分かれた2人組での相談演習などを通じ、相手の気持ちに寄り添う傾聴の方法について学びました。参加者からは「他地区の委員さんとの交流もでき、大変勉強になりました」などといった声が聞かれ、皆さん熱心に研修を受けていました。

### 傾聴研修

## < 民生委員制度はことし創設 100 周年 >



民生委員制度は、大正6年に岡山県で創設された済世顧問制度を源とし、ことし100周年を迎えました。

民生委員は常に住民に寄り添い、相談に応じ、関係機関へつなぐパイプ役となって人々の安心、安全のために活動してきました。この度、100周年を記念し、全国各地でさまざまなイベントが開催されました。本市では、5月12日(民生委員・児童委員の日)に、ふじみ野駅西口と上福岡駅東口・西口で民生委員制度100周年記念駅頭キャンペーンを実施しました。

啓発品を配りながら、民生委員・児童委員の存在やその活動内容について皆さん

の理解を深めるため、呼びかけを行いました。

また、民生委員・児童委員協議会連合会ではおおい祭りや産業まつり等でも同様の啓発活動を行っています。



100周年記念駅頭キャンペーンの様子

## こんなとき、ぜひ相談してください

- ・子育ての身近な相談相手がほしい
- ・高齢になり、1人暮らしが心細い
- ・福祉サービスについて知りたい
- ・近所に困っている人がいるけど、声をかけられない
- ・一時的な生活費や医療費の相談をしたい

.....など

※担当地区の民生委員・児童委員が不明な場合は、福祉課(TEL262・9028)までご連絡ください。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役として、熱心に取り組んでいます。

ふじみ野市では、162人の民生委員・児童委員が活動しています。活動内容は、高齢者や障がい者の安否確認や見守り、子どもたちへの声掛けなど多岐にわたり、医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配事など、さま

さまざまな相談にも応じます。その内容に応じて必要な支援を受けることができるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。

また、毎月の活動として「4カ月児健診の案内」と「福寿草(高齢者情報誌)」を対象の家庭に配布しています。

なお、民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。

今回は、そんな民生委員・児童委員の皆さんについてご紹介します。

## 被災地支援

第3地区民生委員・児童委員協議会では、ベルマークを集め、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市立大街道小学校に寄付しています。「学校に余計な気を遣わせたくない」という思いから匿名で寄付を行っているそうです。ベルマークでの支援を選んだ理由は、各家庭で簡単に集めることができ、日常生活の中で支援ができるからです。月に一度ある会議では、ベルマーク寄付を呼び掛ける旨を資料に記載して、協力を呼び掛けています。

第3地区の民生委員・児童委員は、「例えば、同じお茶でもメーカーによって、ベルマークがついているものについていないものがあります。少しでも被災地の役に立ちたいので、できるだけベルマークがある商品を買うようにしています。場所を問わず、今後も必要としている場所に積極的に支援を行っていきたいです」と話してくれました。

第3地区民生委員・児童委員のお二人と集めたベルマーク



## 高齢者施設支援

南地区民生委員・児童委員協議会では、使わなくなった衣服などを集め、それを裁断して、布切れを作り高齢者総合ケアセンター「マザーアース」に寄付をしています。当時、この施設で働いていた民生委員さんの意見がきっかけだったそうで、10年以上の間活動を行っています。

贈られた布切れは施設の利用者さんが入浴時に体を拭くことや日々の掃除などに使われています。また、タオル生地のもは利用者さんの手の中の汗取りに利用されています。

施設で働く職員さんに何うと「頂いている布切れは使い捨てができるため、衛生面でも使いやすく大変重宝しています。現在、施設は満床で、デイサービスも含めると約100人の利用者さんがいて、減りが速いため、たくさん贈ってくださり助かっています」と話してくれました。

南地区の民生委員・児童委員とマザーアースの職員の方



# 笑顔 このまちに を広げます

民生委員・児童委員は他にもさまざまな活動を行っています。今回はその一部をご紹介します。

## あそびの公園



5月に実施した「新聞紙で遊ぼう」の様子

民生委員・児童委員協議会連合会では、主任児童委員が中心となって、年に10回「あそびの公園」を市民交流プラザ（フクトピア）や東久保中央公園などで開催しています。あそびの公園では「クリスマス会」（12月）、「おひなさまをつくろう」（2月）など季節感を取り入れながらさまざまな企画を実施しています。申し込み不要で気軽に参加できます。ふじみにも参加した昨年のクリスマス会には73組155人もの親子が会場を訪れました。

で遊ぼう」など家の中ではできない遊びをすることで、笑顔あふれる子どもたちの様子を見ると、大変やりがいを感じています。また、あそびの公園は保護者同士の交流の場にもなっています。主任児童委員の役割は悩みを抱える保護者と関連機関をつなぐパイプです。最初から、相談するのは敷居が高いかもしれませんが、あそびの公園ならどなたでも気軽に参加できます。悩みごとを抱えている保護者の方も、まずは一度会場に来ていただければと思います。皆さん、ぜひご参加ください。お待ちしております」と話してくれました。

### < 次回の予定 >

日時／7月18日(火)午前10時～11時  
場所／市民交流プラザ（フクトピア）  
対象／未就学児の親子  
参加費／無料（申し込み不要）  
内容／楽器を作ろう  
問合せ／民生委員・児童委員協議会連合会（福祉課内 ☎ 262・9028）

## 民生委員・児童委員に支えられて

上福岡四丁目に住む島村さんは、いきいきクラブの介護予防体操に参加するなど精力的に日々を過ごしています。

その、島村さんに担当民生委員である新井さんについて何うと「今、特にこれに困っているという相談はありませんが、やはり一人暮らしなので不安もあり、新井さんがいてくれることは、大変ありがたいです。いつもタイミングよくちょうど話をしたいなと思ったときに来てくれます」と話してくれました。

玄関には新井さんからもらったという折り鶴と亀(写真右)が飾られていました。また、「福寿草(高齢者情報誌)を届けてもらうときには、一緒に季節に応じた内容のお手紙が添えられていて、大変うれしいです」と島村さん。

これを聞いた民生委員の新井さんは「信頼してもらえて大変ありがたいです」と満面の笑み。お二人は最後に口を揃えて、「今後もいい関係を続けていければ」と話してくれました。

談笑する新井さん(写真右)と島村さん



玄関に飾られている折り鶴と亀

## 新人民生委員・児童委員さんに聞きました

西地区民生委員・児童委員  
富澤 貴美代さん



大変だけどとてもやりがいのある仕事です

3・4年前に鶴ヶ舞一丁目町会の運営をしたときに、前任者と知り合いました。また、もともと人と話すことが好きだったこともあり、昨年12月に民生委員・児童委員になりました。

就任直後は、用語も分からず本当に大変でした。今は、少しずつ仕事にも慣れ、「マイペースに頑張ろう」という思いです。

民生委員・児童委員の仕事として、福寿草(高齢者情報誌)の配布がありますが、各家庭を訪問した時に声をかけてもらえると大変うれしいです。自分からも積極的に声をかけ、信頼関係を

築いていければと思います。

また、AEDや市の福祉サービス(子育て、高齢福祉など)についてさまざまな研修を受けました。こういった研修を通じ、いろいろなものを吸収して、それを皆さんに伝えていければと思います。

最後に、今後の抱負として、まず私が民生委員・児童委員だと皆さんに覚えてもらうことが一番大切だと思います。そして、困ったときにはすぐに相談してもらえるような存在になっていければと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。